背面のポケットに保管してください。

Combi

ジュニアシート

プリムジュニア　プリムジュニア・イージー

Prim Jr./Prim Jr. EG

取扱説明書

品質保証書付



- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解のうえ、記載された内容に従い正しくお使いください。
- 本書は、ジュニアシート背面のポケットに保管してください。（17ページ参照）
- ジュニアシートを他のお客さまにお譲りになる場合は、必ず本書もあわせてお渡しください。
- 安全運転を励行してください。
- このジュニアシートは、ヨーロッパ基準ECE R44/03を取得しています。

もくじ

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

安全にお使いいただくために

このたびは、コンビジュニアシートをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

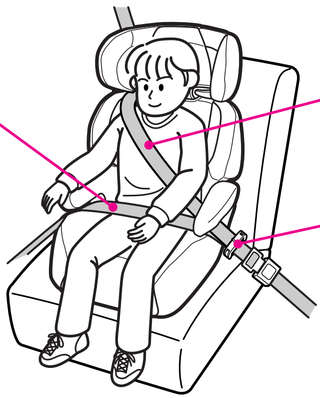
ジュニアシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

取り付け完成図

3点式シートベルトが装備されている座席に取り付けてください。

- **3点式シートベルトとは**…図のように、腰ベルト左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

2点式シートベルト装備の座席、エアバッグ装備の座席など、「取り付けできない座席」に取り付けると、安全が確保できません。



お使いいただけるお子さまの条件

次の条件をすべて満たすお子さまにお使いいただけます。

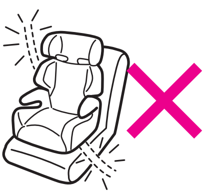
●**体重：15kg以上～25kg未満のお子さま。**
（参考年齢…3才頃～8才頃）

●**身長：100cm～125cm程度のお子さま。**
（確認方法…ジュニアシートに座り、後頭部がヘッドレストから上に出ないこと）

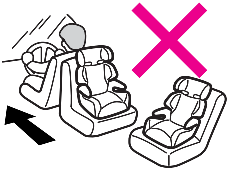
取り付けできない座席

次の条件のいずれか１つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

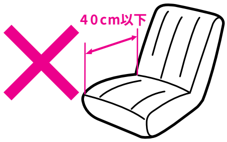
●シートベルトの付いていない座席。



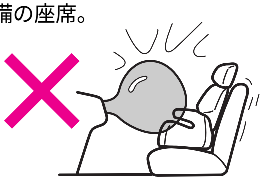
●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



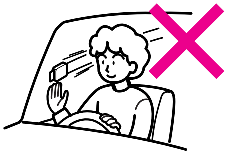
●座席の奥行きが40cm以下の場合。



●エアバッグ装備の座席。

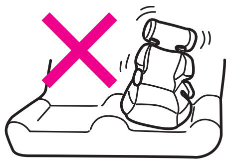


●パッシブシートベルトの付いた座席。

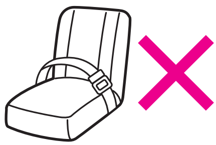


●パッシブシートベルトとは
（オートマチックシートベルト）
…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。とくに輸入車にみられる。

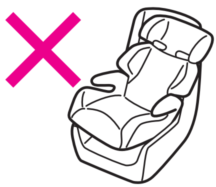
●シートの中央が極端に盛り上がっていて、取り付けたときに不安定になる座席。



●2点式シートベルト装備の座席。



●バケットシート。(座面の中央が深くへこんでいる座席)



安全にお使いいただくために

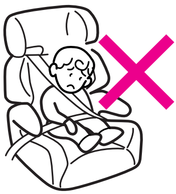
ここに示した注意事項と、お子さま、車の座席の条件は、ジュニアシートとしての機能を発揮させて、安全に正しくお使いいただくためのものです。「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性があります。

⚠ 危険

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります

●使用条件に適合しないお子さま・座席などでは使用しないでください。



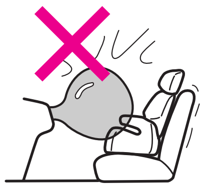
●お子さまがジュニアシートの上で立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。お子さまを座らせたときには、シートベルトが正しい位置で装着され、差し込み金具がしっかり固定されていることを確認してください。



●車のシートベルトおよび座席の種類などにより、取扱説明書どおりにジュニアシートをしっかり固定できないときは、使用しないでください。



●エアバッグ装備の座席ではジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。



⚠ 危険

●お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで固定してください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



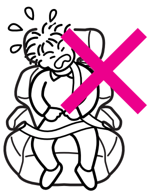
⚠ 警告

次のような使いかたは、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります

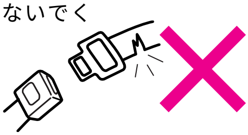
●衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。



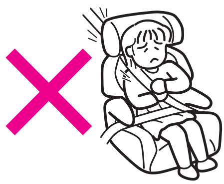
●シートベルトをたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。



●車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。



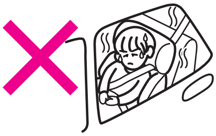
●チャイルドシート固定機能付きシートベルト装備の座席では、シートベルトを全部引き出すと、引き出した方向にロックがかかり、お子さまが締めつけられる危険があります。シートベルトを全部引き出さない状態で、ジュニアシートを取り付けてください。（P11参照）



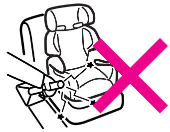
⚠ 警告

次のような使いかたは、同乗している方やお子さまに、危険をまねくおそれがあります

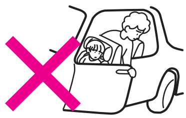
●お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になる恐れがあります。また予期せぬ事故のもととなります。必ず保護者が同乗して使用してください。



●シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席にジュニアシートを取り付けないでください。

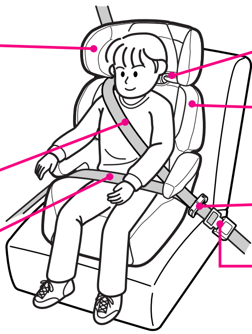


●2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、ジュニアシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。



⚠ 警告

ジュニアシートの本来の機能を生かすため、お子さまを乗せた後で、下記の事項を点検してください。



ヘッドレストの高さが正しく調節されていること。(お子さまの後頭部が、ヘッドレストよりも低い位置にあること)

シートベルトに、ねじれやたるみがないこと。

腰ベルトがお子さまの腰骨あたりを押さえていること。

ベルトガイドが、お子さまの肩よりも少し高い位置にあること。

車の座席とジュニアシートの間のすき間が、できるだけ小さいこと。

ベルトクリップで、きちんと固定されていること。

シートベルトの差し込み金具がしっかりとバックルに差し込まれていること。

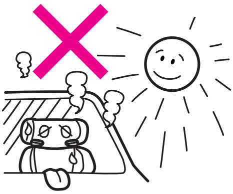
⚠ 警告

緊急の場合には

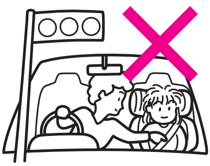
事故など緊急時は、あわてず、保護者の方がシートベルトをはずし、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

⚠ 注意

●ジュニアシートに直接日光が当たると、本体やシートベルトの差し込み金具などが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。お子さまを座らせる前に各部にさわり、やけどをしないことを確認してから使用してください。また夏場や日差しの強いときは、日陰に駐車するか、本体に布などのカバーをかけてください。



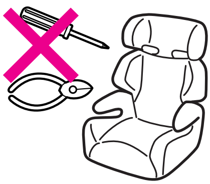
●走行中は、ジュニアシートの操作や調整をしないでください。また、同乗している他のお子さまが、ジュニアシートにさわらないようにしてください。



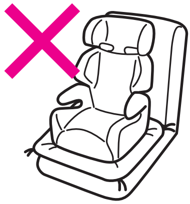
●ジュニアシートを車のシートの可動部やドアに挟まないように、十分注意してください。



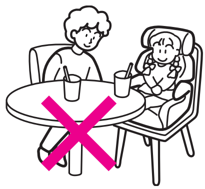
●ジュニアシートを改造したり、本書に記載されていない取り扱いをしないでください。



●車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままでジュニアシートを取り付けないでください。ジュニアシートがしっかり固定されません。

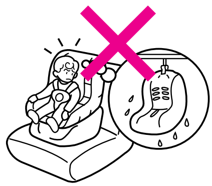


●ジュニアシートを、通常の椅子として使用すると、転倒してけがの原因となります。この取扱説明書に記載されている使いかたで使用してください。

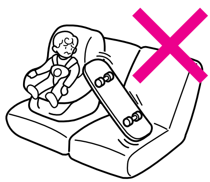


●ジュニアシートを、風雨にさらさないでください。

●シートカバーなどの縫製品をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。
(拘束性能に影響を与えるおそれがあります)

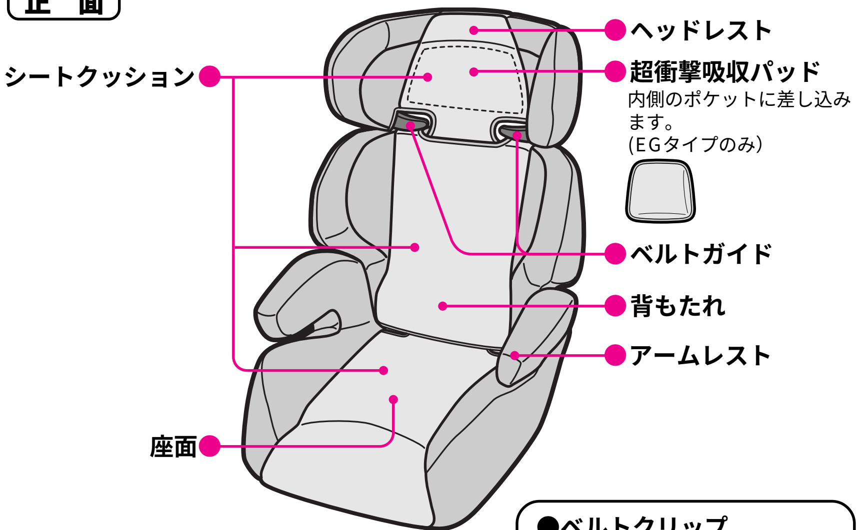


●固定されていない物を車内に放置しないでください。
(急ブレーキや衝突の際にお子さまなどに当たる可能性があり危険です)

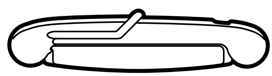


各部のなまえ

正　面

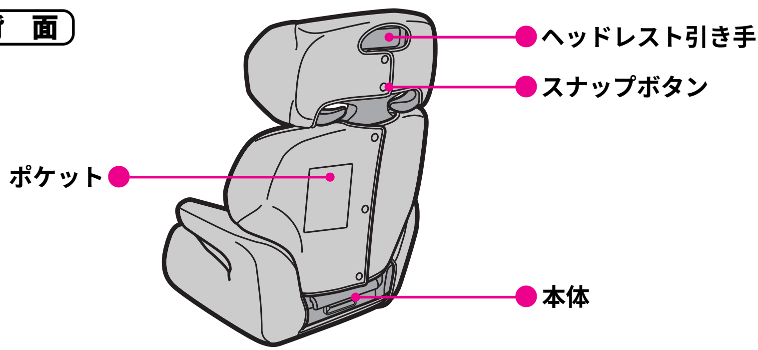


●ベルトクリップ



シートベルトのゆるみを防ぐために使います。（使いかたは、13ページをご覧ください）

背　面



使いかた

1 車の座席に置く

■車の座席のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。

車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。2ページをご覧ください。

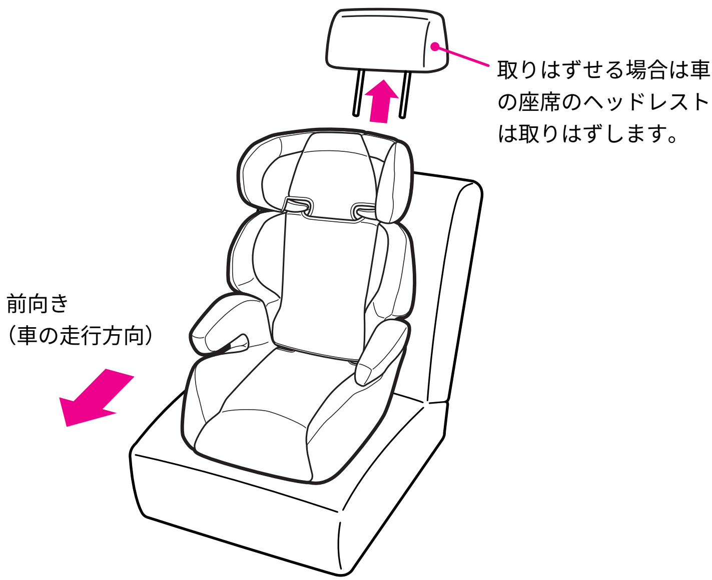
⚠ 危険

- ●エアバッグが装備された座席ではジュニアシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。エアバッグの装備されていない座席で使用してください。
- ●座席の種類などにより、ジュニアシートをしっかり取り付けられない場合は、使用しないでください。本来の機能をはたさず大変危険です。

⚠ 警告

2ドア、3ドア車で後座席に人が乗車する場合は、助手席にはジュニアシートを取り付けないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

■ジュニアシートを前向きに車の座席に置きます。



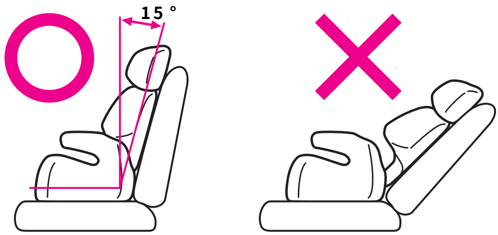
2 背もたれの角度を調節する

■ジュニアシートの背もたれと車の座席の間のすき間が、できるだけ小さくなるように調節してください。

⚠警告
車の座席がリクライニングできる場合は、できるだけ立てて使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能をはたさず、危険です。

⚠注意
背もたれの角度調節は、必ず車を停車させて行ってください。

車の座席角度に合わせて、15°前後の傾きで使用してください。



3 お子さまを座らせる

■お子さまを、ジュニアシートに深く座らせてください。

⚠警告
お子さまを図のように座らせると、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険です。



お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。

中腰になったり、正座したりしている。



⚠注意
背もたれと座面の間に衣服を挟むおそれがあります。注意してください。

4 ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さを調節する

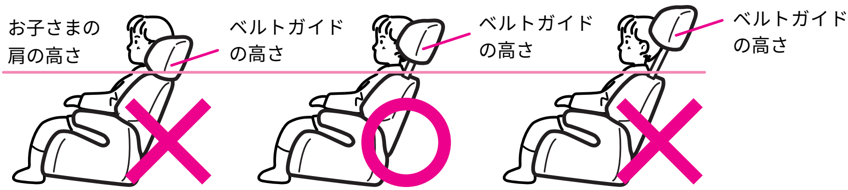
⚠警告

●ベルトガイド部は、車のシートベルト(肩ベルト)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまの成長に伴い、ベルトガイド部が低くなったときには、ヘッドレストの高さを調節し直してください。

●お子さまの後頭部が、ヘッドレストの一番高い位置よりも上に出る場合は、使用をおやめください。そのまま使用すると、事故などの衝突時に、大変危険です。

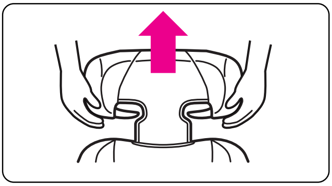
ベルトガイド(ヘッドレスト)の高さの目安

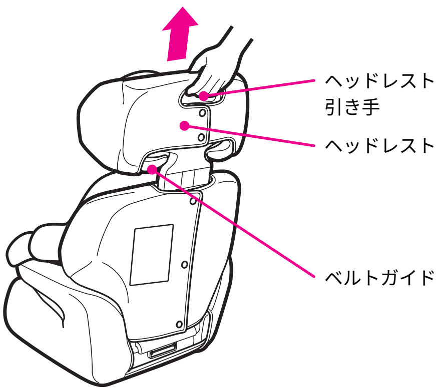
ベルトガイドを、お子さまの肩の高さよりも、少し上の位置にしてください。



ベルトガイド(ヘッドレスト)の引き上げかた

ヘッドレスト引き手に手をかけて、ヘッドレストを上に引き上げます。
引き上げにくい場合には、両手でヘッドレストの両端を持って引き上げてください。





5 シートベルトを締める

⚠ 危険

- ●3点式シートベルトが装備されている座席に取り付けてください。2点式シートベルト装備の座席には、使用しないでください。
- ●お子さまが座っていないときでも、ジュニアシートは必ずシートベルトで固定してください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。

⚠ 警告

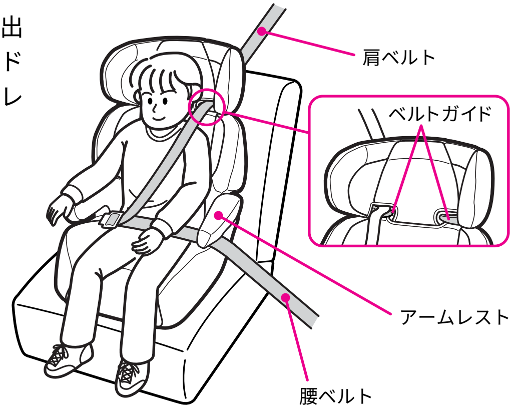
- ●チャイルドシート固定機能付きシートベルト装備の座席に取り付ける場合は、シートベルトを全部引き出すとロックがかかり、お子さまが締めつけられる危険があります、全部引き出さないでください。また、お子さまがシートベルトを引き出さないように注意してください。(詳しくは、下の表をご覧ください。)
- ●シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- ●車のシートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。

シートベルトの種類と特徴

シートベルトの種類	特　徴	取り付け上の注意点
● ELR付き3点式シートベルト ● ELR付き2点式シートベルト …ELRとは緊急ロック式ベルト巻き取り装置のことです。	通常は、ゆっくりと引くとベルトが自由に出入りし、急ブレーキや衝突などの衝撃を感知したときだけ固定機能が働き、ベルトが固定されるシートベルトです。	ジュニアシートは、2点式シートベルトでは、使用できません。
● A/ELR付きシートベルト (チャイルドシート固定機能付きシートベルト) …A/ELRとはALRとして使用できるELR巻き取り装置のことです。	通常は、ELRベルトとして機能しますが、ベルトを全部引き出すとELR機能が解除され、ベルトを戻すと自動的にロックされるシートベルトです。また、ベルトをすべて戻したときにはELR機能に戻ります。	シートベルトを全部引き出した状態では危険です。ベルトを戻してチャイルドシート固定機能を解除してください。
● ALR付きシートベルト …ALRとは自動ロック式巻き取り装置のことです。	ベルトを引き出す途中で止めるとロックされ、それ以上引き出されなくなるシートベルトです。	ジュニアシートを固定するのに十分なシートベルトを引き出して固定してください。
● NLR付きシートベルト …NLRとは非ロック式巻き取り装置のことです。	ロック機能のない巻き取り装置のことで、任意の位置で長さ調節して使用します。	ジュニアシートに合わせてシートベルトの長さを調整し、固定してください。
● マニュアル式シートベルト	巻き取り装置の付いていないシートベルトのことです。	

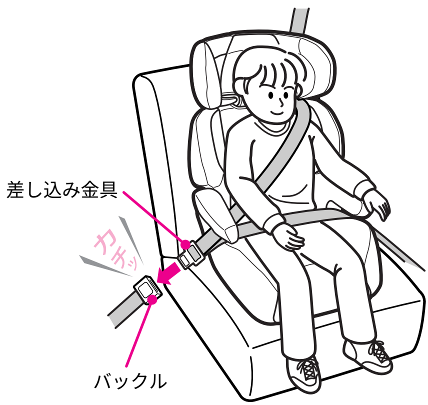
※シートベルトの種類が不明な場合は、ご使用の車の取扱説明書をご覧ください。

1 車のシートベルトを引き出し、肩ベルトをベルトガイドに通し、腰ベルトをアームレストの下に通します。



2 肩ベルトが、お子さまの肩よりも高い位置から引き出されていることを確認してください。
肩ベルトがお子さまの肩よりも下から出ている場合には、「ベルトガイド（ヘッドレスト）の高さを調節する」（10ページ）をご覧になり、ベルトガイドの高さを調節してください。
このとき肩ベルトがお子さまの首にあたらないよう、十分注意してください。

3 差し込み金具を反対側のアームレストの下側から引き出し、『カチッ』と音がするまで、しっかりとバックルに差し込みます。



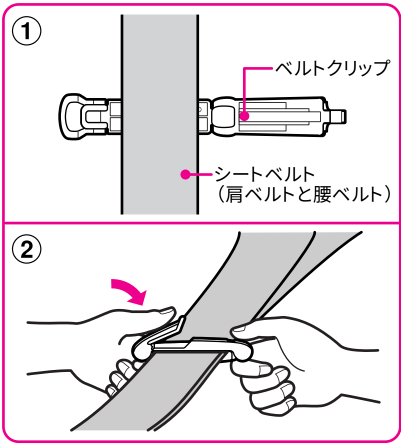
4 シートベルトに、ねじれやたるみがないことを確認し、「ベルトクリップ」を取り付けます。（13ページ参照）

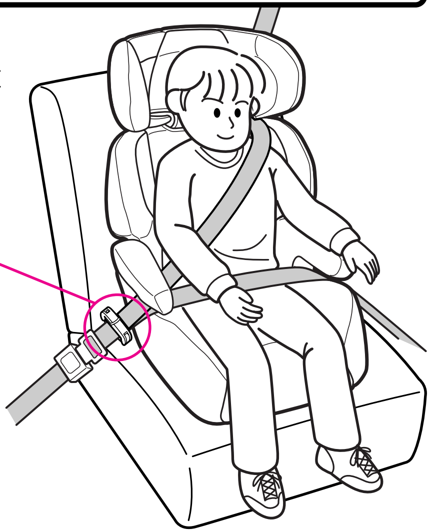
6 ベルトクリップを取り付ける

■ジュニアシートをしっかり固定するため、ベルトクリップは必ず取り付けてください。

⚠警告
ベルトクリップを取り付けていないと、シートベルトがゆるみ、ジュニアシートが前にずり落ちたり、お子さまが抜け出したりするおそれがあります。事故などの衝突時に、ジュニアシートが本来の機能をはたさず、危険です。

アームレストと差し込み金具の間のシートベルト（肩ベルトと腰ベルト）を２枚重ねて、①ベルトクリップの中央にセットして、②挟みます。



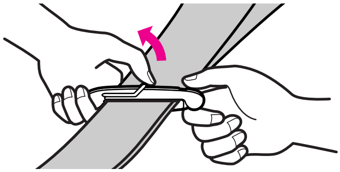


※ベルトクリップの操作は、シートベルトのゆるみを防ぐためと、お子さまの力ではずれないよう固くしてあります。

ベルトクリップのはずしかた

注意
●ベルトクリップをお子さまがさわらないように注意してください。

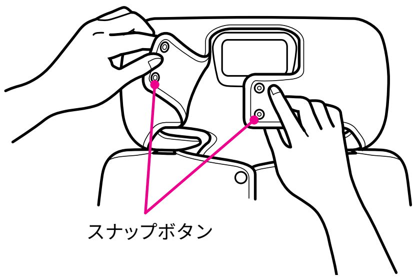
取りはずすときには、右図のように突起部に指を引っかけて矢印方向に引っぱり、ロックをはずします。



7 超衝撃吸収パッドの取り付けかた(EGタイプのみ)

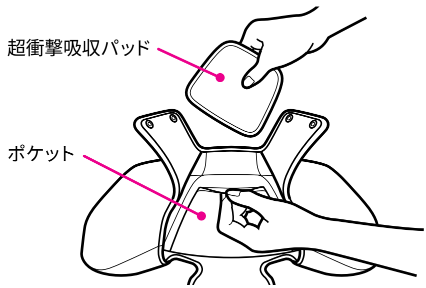
■EGタイプには頭部に段差などによる衝撃を吸収する"超衝撃吸収パッド"が付いています。

1 頭部裏側のスナップボタンをはずし、シートを取りはずします。



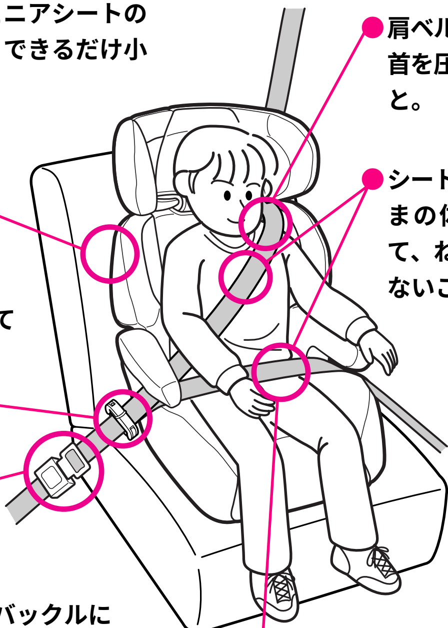
2 超衝撃吸収パッド(付属)の大きい面を下にして、頭部内側のポケットへ差し込みます。

※超衝撃吸収パッドは洗濯できません。



8 取り付け完了のチェック

■取り付けが終わったら、ジュニアシートが正しく取り付けられているか、次のことを確認してください。



⚠警告

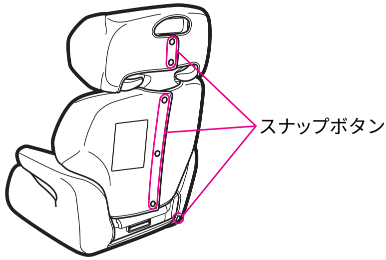
これらの項目をチェックし、しっかりと取り付けられていない場合は、再調節してください。それでもしっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能をはたさず、危険をまねくおそれがあります。

お手入れのしかた

シートクッションの取りはずしかた

1 ジュニアシート背面のスナップボタン(ヘッドレスト部 2カ所、背もたれ部3カ所、座面部1カ所)をはずします。

2 各パーツのシートクッション(3枚)をはずします。



※シートクッションを取りはずしたまま使用しないでください。

シートクッションの取り付けかた

1 シートクッションを座面部、ヘッドレスト部、背もたれ部の順にかぶせます。

2 背面のスナップボタン(6カ所)をとめます。

シートクッションの洗いかた

超衝撃吸収パッドは洗濯できません。必ず抜き取ってから洗濯してください。
(14ページ参照)
また、シートクッションを洗濯するときには、次のことを守ってください。

	液温は30℃を上限として手洗いしてください。		日陰で平干ししてください。
	ドライクリーニングはしないでください。		漂白剤は使用しないでください。
	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。 強く絞ると、シワが残ることがあります。		アイロン掛けはしないでください。

※蛍光増白剤を含まない洗剤を使用してください。

お手入れのしかた

本体のお手入れのしかた

通常は、かたく絞った布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体を傷めるおそれがあり、危険です。

保管のしかた

取扱説明書

取扱説明書(本書)は、よくお読みのうえ、背面のポケットに保管してください。

ベルトクリップ

ジュニアシートを使用するときには、シートベルトのゆるみやお子さまの抜け出しを防ぐため、必ずベルトクリップを使用してください。
また、ジュニアシートを使用しないときは、背面のポケットに保管してください。

※他のお客さまにジュニアシートをお譲りになる場合は、取扱説明書とベルトクリップもあわせてお渡しください。

製品仕様

Prim Jr.

商 品 サ イ ズ ：(W)410×(D)465×(H)670〜785mm

商　品　重　量 ：2.9kg

ケースサイズ ：(W)485×(D)430×(H)700mm

ケース入り重量 ：4.5kg

安　全　基　準 ：ECE R44/03適合品

材　　　　質：	●本体	ポリエチレン
	●シートクッション	
	表生地	ポリエステル
	クッション材	ウレタンフォーム

Prim Jr. EG

商 品 サ イ ズ ：(W)410×(D)465×(H)670〜785mm

商　品　重　量 ：3.0kg

ケースサイズ ：(W)485×(D)430×(H)700mm

ケース入り重量 ：4.6kg

安　全　基　準 ：ECE R44/03適合品

材　　　　質：	●本体	ポリエチレン
	●シートクッション	
	表生地	ポリエステル
	クッション材	ウレタンフォーム
	●エッグショック	低反発ウレタンフォーム